

## 自然を封入する

小川哲矢・余田佳美・山本秀利・宇陀公正・畑 寿々子・岡田照代・  
能勢公紀・鳥越悠紀子・木村公之

私たちはひとはくの「封入標本を用いた展示制作講座（全4回）」\*を受講しその成果品を展示フロアーに配置するという貴重な体験をしました。その概要を報告します。

### 第1回（5/15）

先生に引率されて展示コーナーを歩き回り、封入標本の出番をどこにするか各自が考えみんなて議論して、次のような標本を作ることに決まりました。

カミキリムシ（ゴマダラカミキリ クワカミキリ キボシカミキリ ノコギリカミキリ）

畦に生える雑草（ミゾカクシ ヒメコバンソウ ニワゼキショウ ムラサキサギゴケ）

タンポポ3種の花と綿毛（カンサイタンポポ セイヨウタンポポ シロバナタンポポ）

カザグルマ（三田市 市花）

カワラヒワの羽根

きのこ

哺乳動物のウンチ（ニホンカモシカ ニホンジカ ニホンノウサギ ホンドテン ムササビ  
ニホンイノシシ）

### 第2回（6/26）

標本（館で用意されたもの 各自が採集したもの）を容器（完成した時の形）に封入しました。初めての人も適切な指導で樹脂\*\*を数回に分けて失敗なく注入できました。樹脂を浸透し易くする為デシケータと真空ポンプを併用したりスチレン等でプライマー処理して樹脂との密着性を配慮しました。

### 第3回（8/28）

硬化した標本を容器から脱型し研磨に1日を費やしました。4種類（# 80 # 400 # 1000 # 2000）の耐水ペーパーを順に使って仕上げました。# 80の段階ではハンドグラインダーも併用しました。最終はジフ（研磨剤）ピカール（コンパウンド）アイコク（フッ素&シリカコート）で透明感を出し汚れ防止対策をしました。この日の作業は腕力仕事で一番苦労した日となりました。

### 第4回（9/23）

リファレンスルームの参考図書と首っただけで簡潔な解説文作りに専念しました。自分の思いも入れたく何度も書き直しをした人もいました。シートの色・字体・字の大きさ・色... 台の上に載せたり降ろしたりしてその効果を試しながら展示ケースに収めて完成の喜びを噛締めました。

何気なく見ていた博物館の「展示」のひとつひとつにさまざまな工夫が凝らされていることを今更ながら学ぶことができました。

\* 2010 セミナーガイド F01 講師 三橋弘宗 流域生態研究グループ

\*\* ユピカ：パーメック = 100：1 容積比